

社会資本整備審議会 道路分科会 第33回近畿地方小委員会

議事概要

1. 日時 令和5年11月22日(水) 10:30~12:00
2. 場所 WEB開催【事務局会場】大手前合同庁舎6階道路占用調整室
3. 出席者

[委員]	飯塚 敦	神戸大学 都市安全研究センター 教授
	宇野 伸宏	京都大学大学院工学研究科 教授
	木村 玲欧	兵庫県立大学 環境人間学部 教授
	小西 華子	竹林・畑・中川・福島法律事務所 弁護士
◎	小林 潔司	京都大学 名誉教授/京都大学経営管理大学院 特任教授
	多田 稔子	一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー 代表理事・会長
	榎村 久子	京都女子大学 宗教・文化研究所 客員研究員

※敬称略、五十音順 ◎は委員長

4. 議事

- ・新広域道路交通計画と高規格道路ネットワーク
- ・WISENET（ワイズネット）2050・政策集
- ・道路DGMXの取組

<委員からの主な意見>

【新広域道路交通計画と高規格道路ネットワーク】

- 「高規格道路ネットワークのあり方 中間とりまとめ」では「防災」が重点テーマとして記載されているので、高規格道路の機能要件にも「防災」のキーワードを入れて欲しい。
- 手続きの見直しにより、事業の効率化が図られるようにして欲しい。

【WISENET（ワイズネット）2050・政策集】

- 取組を進める上で、コスト縮減が重要であるため、DXの活用や性能発注の採用等を検討されたい。
- 「国土保全」に防災も入っているが、「防災」のキーワードが明確になるよう記載して欲しい。
- 少子高齢化に関連して、地方の生活者の視点も入れて欲しい。
- 将来の姿について、交通量需要がこれからどのように変化するかも考えて、これらの取り組みを進めることが重要。
- 取組を進めて行く上で、ロードマップを作成し、遅滞なく、取組を進めて頂きたい。
- 課題と取組の関係性を明確にして欲しい。6つの求められる役割以外の拠点機能の強化などの取組はどういう位置付けなのかを示して欲しい。

【道路DGMXの取組】

- 近畿管内のどこから進めていくのか指標を定めたいうで優先度を整理することが必要。
- 取組だけではなく、目的を明確にして進めるべき。
- ドローンの活用も検討頂きたい。また、駐車場予約システム等の万博関連の取組は万博終了後も工夫して継続頂きたい。
- 道路の維持管理コスト縮減に、自動運転技術を活用できないか検討頂きたい。
- 中山間地域において高齢化が進む中、生活の足として自動運転の取組が進むとよい。

以上